

地域教育懇談会だより

高瀬地区「地域教育懇談会」を開催しました

郡山市教育委員会
令和7年12月10日(水)

高瀬地区「地域教育懇談会」を11月18日(火)午後6時30分から高瀬地域公民館で開催しました。高瀬中学校、高瀬小学校、ケヤキッズかなや保育園の保護者や教職員、地域の皆様など、約30名の参加がありました。

前半は、早崎保夫教育長のあいさつに続き、教育委員会事務局職員が、本市の教育施策について説明しました。

後半は高瀬小・中学校管理職の司会のもと、学校・地域・教育委員会による熱心なグループ協議が行われました。

グループ協議

各課、各センターにおける教育施策の説明

学校教育推進課

1人1台タブレット端末を活用した授業の推進、郷土愛を育む教育や自他の生命(いのち)を大切にする教育の充実、「安心・安全」に向けた地域との連携等

学校管理課

体力向上のための学校体育の充実、コミュニティ・スクール、働き方改革、部活動等の在り方に関する指針、部活動の地域展開等

教育研修センター

教職員研修の推進、ICTを活用できる環境の充実、オンライン学習教材の活用、情報モラル教育の充実等

総合教育支援センター

不登校児童生徒への支援、心身の健康状態を可視化するツールの活用、いじめ問題や虐待等の対応に向けた体制の整備等

後半のグループ協議では、地区内の小・中学校を代表して、高瀬中学校長から小・中学校の現状・課題について話していただいた後、3つのテーマ毎にグループに分かれて、様々な立場、視点からの活発な意見交換が行われました。

グループ協議のテーマ

【高瀬中 大竹校長より話題提供】

- SNSのメリット・デメリット(Aグループ)
- 地域と学校が協力する子育て(B・Cグループ)
- 部活動について(D・Eグループ)



地域の皆様から御意見をたくさんいただきました！

<Aグループ>

- ・SNSは使い方次第では有益なものである一方、SNSのつながりが犯罪につながったり、写真が投稿・拡散されてトラブルになったりするリスクもある。
- ・視力低下、寝不足などの健康被害が心配である。
- ・学校では、道徳科の授業、情報モラル教室、外部講師の招聘により、SNSに対する正しい知識や向き合い方について指導している。
- ・家庭への意識啓発が必要である。
- ・高瀬中では、情報モラル教室に保護者の参加も可能としている。
- ・地域においては、子ども会等で話題にしてもらうことも重要である。

<B・Cグループ>

- ・高瀬地区は、公民館行事に参加する人が多く、地域住民のつながりが強い。
- ・工業施設、大学、史跡、農地など、子どもの学びを助ける環境が整っている。
- ・交通安全指導をしていると、子どもたちが元気に挨拶してくれる。
- ・公民館では、子どもが自由に遊べる居場所づくりを行っている。
- ・多くの大人が子どもを見守ることはとても大事である。
- ・町内会、子ども会、老人会などで協力体制をつくるのが望ましい。
- ・学校運営協議会を活用し、地域の協力を仰いでいきたい。

<D・Eグループ>

- ・休日の大会などには、後援会が送迎などを行ってきた。
- ・休日は、平日とは異なる部活動を選ぶなど、子どもが自分で選択できる活動を提供していくことも大事である。
- ・生徒数の減少に伴い、学校の規模に応じて部活動が廃部になっている現状があり、希望ではない部に入部する生徒もいる。
- ・今後、部活動の地域展開において、指導できる人材がいて、活動する場所があれば、子どもは入りたい部に入れる機会を与えられるのではないか。



グループ協議では、貴重な御意見をたくさんいただくことができました。今回の地域教育懇談会がきっかけとなり、学校・家庭・地域の連携がますます図られますよう、今後も御協力をよろしくお願いいたします。